SDGs達成に向けた取組チェックリスト　（基本：記載必須、チャレンジ：3項目以上記載必須）　【長崎空港ビルディング株式会社】

番号		項目	基本／チャレンジ	具体的な取組内容	対応する主なSDGsの17のゴールと169のターゲット															
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	組織体制	【内部管理体制】 経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	自社ホームページによる情報公開及び社内イントラネットへの掲載により、社内で共有を図っている。								8	9							17
2		【法令遵守】 法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	コンプライアンス研修及び社内コンプライアンス監査を年1回実施しており、法令順守に関する体制・仕組みを構築している。																16	
3		【組織体制】 企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している	基本	各種規程等により、担当や責任者・部門などの体制を明確にしている。																16	
4		【ステークホルダーとの対話】 ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	行政機関や航空会社やテナントなどの関係各社と随時、情報交換を行い、各課題の理解・解決に向けた取り組みを行っている。																16	17
5		【SDGsの普及啓発（内部）】 社内において、従業員へのSDGsに関する教育機会を適切に確保することで、SDGsの理念が社内に浸透している	基本	経営方針に「持続可能な空港経営に向けた基盤づくりと価値創出への挑戦」を掲げ、経営ビジョンである「地域に貢献し、ともに成長できる空港」を目指して、社内イントラネットにより、社内周知を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
6		【社会的責任】 CSR（企業等の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	コンプライアンス宣言及びNABIC行動基準を策定し、企業活動が及ぼす影響に対して責任を持った対応に取り組んでいる。																16	
7		【災害や事故などのリスクへの備え】 自然災害や事故などを想定した事業継続計画を策定し、リスクへの備えを行っている	チャレンジ	空港としての機能や役割を果たすとともに、当社の経営存続に関わる重要業務を早期に再開、又は、途絶させないための「業務継続計画書」を策定している。									9	11			13 13.1			16	17
8		【事業承継】 事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ									8	9								17
9		【フェアトレード】 フェアトレード商品の調達に取り組んでいる	チャレンジ		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
10	公正な取引	【公正な競争】 汚職・贈収賄の禁止及び不正な競争に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	コンプライアンス宣言及びNABIC行動基準を策定し、また、汚職・贈収賄の禁止および不正な競争に関与しないよう就業規則等に定め、社員周知に努めている。										10						16 16.5	
11		【個人情報保護】 個人情報を適切に管理している	基本	コンプライアンス宣言及びNABIC行動基準を策定し、個人情報保護規程にもとづく管理を行うとともに、年1回の社内コンプライアンス監査時に社内周知を行っている。																16	
12		【知的財産保護】 知的財産の保護に取り組んでいる	基本	コンプライアンス宣言及びNABIC行動基準を策定し、著作権、商標権、肖像権等の第三者（他社）の権利を含む権利侵害を行わないように、社内周知を行っている。								8.2 8.3	9								
13		【サプライチェーン管理】 サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ						5			8		10		12	13	14	15	16	17
14	人権・労働	【差別・ハラスメントの禁止】 性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している	基本	差別・各種ハラスメントに関して、規程やヘルプラインなどの体制を構築し、ハラスメント研修を毎年実施している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	

SDGs達成に向けた取組チェックリスト　（基本：記載必須、チャレンジ：3項目以上記載必須）　【長崎空港ビルディング株式会社】

番号		項目	基本／チャレンジ	具体的な取組内容	対応する主なSDGsの17のゴールと169のターゲット															
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
15	人権・労働	【労働安全衛生】 作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	安全衛生委員会を設置し、定期的な労働環境の目視確認や環境改善及び、安全衛生に関する情報共有・発信を行っている。			3					8 8.8									
16		【ダイバーシティ経営】 多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	事務所内段差のスロープ化や小学校3年生までの短時間勤務制度や年次有給休暇の半日休暇制度の導入など、物理・制度両面で多様な人材が活躍できる環境整備に取り組んでいる。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
17		【人材育成】 適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	階層別研修や自己啓発プログラムによって教育訓練の機会を社員へ提供している。				4	5.5			8	9								
18		【公正な待遇】 雇用形態に関わらず、同一労働、同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	同一労働同一賃金の原則に沿った体制・業務の整理を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
19		【健康経営】 従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる	基本	平成29年度に長崎県より「健康経営推進企業」に認定されており、以降継続して、従業員が心身ともに健康を維持できるよう各種施策を拡充して講じている。			3					8									17
20		【ワークライフバランス】 働き方の見直し等により、長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るライフワークバランスを推進している	基本	年次有給休暇の半日休暇制度の導入や各種業務システムの導入や随時の働き方の見直し等により、長時間労働の防止とワークライフバランスの推進に努めている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
21		【DXの推進】 ICTやAIを活用したデジタル化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる	チャレンジ	各種業務へのシステム導入や書類の電子を進めており、業務効率と社員満足・お客様満足の向上に取り組んでいる。								8	9.1		11	12					
22	環境	【廃棄物・有害化学物質】 廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる	基本	廃棄物や有害化学物質については、専門業者と契約し適切な処理を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.3 12.4 12.5		14.1	15.1		
23		【エネルギー・温暖化】 自社のエネルギー使用量や温室効果ガスの排出量を把握し、その使用量削減や排出量の抑制に取り組んでいる	基本	館内照明のLED化を進めており、エネルギー使用量等の把握及び削減・抑制に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13 13.3	14	15		
24		【環境配慮】 自社活動において、環境に配慮した製品の取り扱いに取り組んでいる	基本	各種システム導入により、ペーパレス化を進めており、会議資料もクラウド共有で、ペーパーレスを促進している。						6 6.6			9.4			12 12.4 12.5	13	14	15		
25		【3Rの推進】 限られた資源を有効利用するため、3R（リデュース、リユース、リサイクル）に取り組んでいる	基本	ペーパーレス化及び裏紙の使用の推進や不要品についても廃棄ではなく、売却を行い、3Rに取り組んでいる。						6.3			9.4		11.6	12 12.2 12.4 12.5	13	14 14.1	15		
26		【水の管理】 自社の水の利用状況を把握し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	上水道/中水の使用状況を把握しており、使用量の多い飲食事業部門においては特に節水等の利用効率改善に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
27		【再生可能エネルギーの利用】 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	太陽光発電パネルを事業所屋上に設置しており、発電した電気は館内空調に使用している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13 13.1 13.3				

SDGs達成に向けた取組チェックリスト　（基本：記載必須、チャレンジ：3項目以上記載必須）　【長崎空港ビルディング株式会社】

番号		項目	基本／チャレンジ	具体的な取組内容	対応する主なSDGsの17のゴールと169のターゲット															
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
28	環境	【環境マネジメントシステム】 ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
29		【環境情報開示】 環境の取組に関する情報を正しく開示している	チャレンジ													12.6					
30		【天然資源の持続的利用】 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ													12.2	13	14	15		
31		【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる	チャレンジ	家庭や会社で使い切れない食品を持ち寄り、フードバンク団体や社会福祉協議会を通じて、毎年2回の食品寄付を行っている。	1	2				6.4						12.3		14	15		17
32		【森林資源の循環利用に向けた取組】 植林等、持続的な森林利用への取組を行っている	チャレンジ							6 6.1 6.3			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
33		【海洋ごみ】 海洋ごみの削減や海洋汚染の防止に貢献している	チャレンジ	大村湾沿岸一斉清掃の実施												12.2 12.5		14			
34		【環境に配慮した交通手段】 電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している	チャレンジ										9.4		11.2		13.1 13.3				
35	社会・地域貢献	【製品・サービスの安全性と品質確保】 製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している	基本	ホームページや空港館内に空港利用者の声をお聞きする仕組みを構築しており、空港利用者に提供する品質の確保、向上に努めている。			3.9						9			12.4					
36		【ユニバーサルデザイン】 誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている	基本	新たに導入したユニバーサルデザイン搭乗橋により、高齢者や車いす利用者の利便性向上だけでなく、健常者の利用に際しても安全性が向上している。空港館内においても、段差がなく、手すりや多目的トイレの設置などバリアフリー化を進めており、誰もが不自由なく利用しやすい環境を整備している。また、執務エリアはフリーアドレスデスクを導入しており、働きやすい環境の整備を進めている。										9.1	10	11.7						17
37		【地域への参画】 地域の自治・福祉・防災活動や寄付、ボランティアなどの社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	基本	地域清掃活動やおおむら夏越し祭り等のイベント行事への参加、初日の出フライトやランウェイウォークなど空港ならではイベントを企画・運営し、地域貢献活動に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
38		【地域資源】 地域産物等の地域資源を積極的に利用している	チャレンジ	長崎空港内の直営売店での県産品の販売や、直営飲食店舗での県産食材を使用したメニューを提供している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11 11.a	12 12.3	13	14	15		17
39		【社会課題解決】 社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
40		【インターンシップ等の受入れ】 職場体験やインターンシップの受入れ、出前講座の実施など地域の児童・学生に対し、学びの場を提供している	チャレンジ	依頼にもとづき職場体験やインターンシップの受入れや、小学生までを対象にした長崎空港内見学受入を行い、学びの場を提供している。				4				8.6		10.2							17
41		【若者の地元定着等】 若者の県内就職を促進する取組を行っている	チャレンジ	県内高校生を対象とした企業説明会や各高校への訪問を行っている。				4.4				8.5 8.6									17
42		【県や国の各種登録・認定制度を受けている】 （例）Nぴか企業認定／えるぼし認定	チャレンジ	・認定「くるみん認定」（厚生労働省） ・認定「健康経営推進企業」（長崎県） ・認定「JNTO認定外国人観光案内所　カテゴリー2」 ・選定「地域未来牽引企業」（経済産業省）			3	4				8	9			12					